

林 重雄¹：愛知県渥美半島にヒルガオガイの漂着Shigeo HAYASHI¹：Stranding of *Recluzia lutea* (Benett) on the beach of Aichi Prefecture, Japan.

ヒルガオガイ *Recluzia lutea* (Benett) はアサガオガイ科に属する巻貝で、黒潮水系をはじめ世界の暖流域外洋で浮遊生活を送る (奥谷 2000; Abbott 1968). アサガオガイ科では、保護色として殻が海の色に溶け込むように青紫色になる傾向があるが、ヒルガオガイは例外で褐色となる。また希産で詳しい生態は分かっていない (佐々木 2010; Abbott and Dance 1981).

漂着記録 筆者は2014年8月22日、愛知県豊橋市伊古部町から東赤沢町にかけての海岸 (図1) で漂着物調査中にヒルガオガイ (図2) を確認した。この海岸は渥美半島の付け根近くに位置し、豊橋の南10kmほどにある。この一帯は第四系更新統の海蝕崖が連続する海岸線をもち、この地域は片浜十三里と呼ばれている (田原市 2008)。海岸の南は太平洋に面し、初夏から秋口にかけては漂着物が寄り集まりやすい場所である (林重雄 ブログ)。

発見時 (午前7時) 海岸の天候は晴れ、気温27°C、南の風、風速1m/sであった。ヒルガオガイを発見した地点は、当日の高潮線よりも5mほど陸側であった。その位置には、1~3cmほどの細かな白いパラフィンが随伴していたが、点々と砂浜に続き線を描く状態であった。漂着していたヒルガオガイは17個体で、デジタルノギスで計測したところ、最大個体では35.2×24.2mm (殻高×殻径)、最小個体では8.5×5.4mm (殻高×殻径)、平均では19.6mm×13.2mm (殻高×殻径) となった。ほとんどのヒルガオガイには軟体部が付着しており、中には卵嚢の付着も確認できたが乾ききっていた。殻の表面は褐色の薄い殻皮に被われているが、失われているもの確認でき、漂着後1週間ほどは経ったものと思われた。

考察 8月10日~11日にかけて、台風11号が愛知県の西側を北北東に向けて通過した。通過後は11日~14日にかけて平均風速1.5m~3.2mの南よりの風が優勢であった (気象庁 HP)。台風時にもたらされたと思われる流木などの漂着物は、ヒルガオガイの打ち上げ線よりも陸側であった。ヒルガオガイは随伴したパラフィンと打ち上げ線を作っていることから、風の弱まった11日から14日にかけて漂着したものと推測された。またこの打ち上げ線にはギンクラゲやカツオノエボシといった浮遊性海洋生物が全く見られなかったこともあり、他のアサガオガイ科貝類とは異なった生活史を持っているものと推測される。

ヒルガオガイを17個体採集したのは伊古部町から西に位置する東赤沢町にかけての1kmの範囲である。8月18日には田原市百々で3個体が確認されていたため、随伴するパラフィンの打ち上げ線に沿って他に数箇所でも調査した。伊古部町より東に位置する豊橋市西七根海岸では確認できなかった。また、渥美半島西端から順に田原市伊良湖岬、田原市堀切でも確認できなかった。田原市赤羽根町太平洋ロングビーチでは6個体、田原市百々では追加3個体となったが、田原市六連では確認できなかった。発見地点の東西両端はおおよそ16kmになったが、平均的な漂着ではなく、局所的なものになった。今回確認で

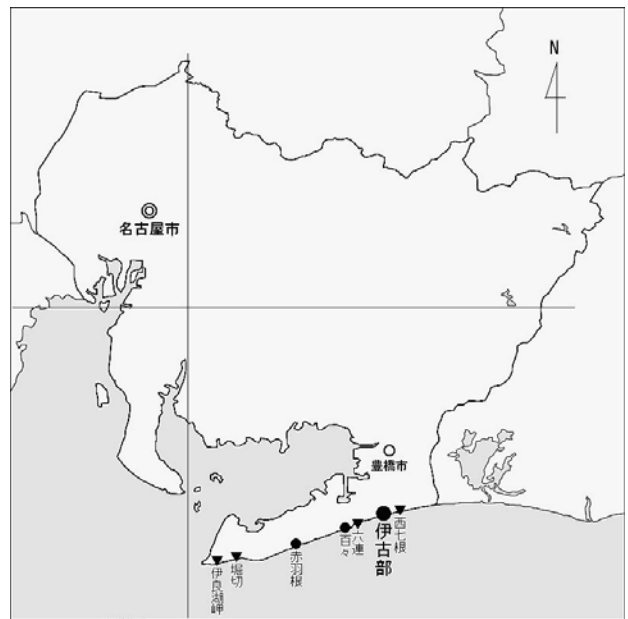


図1 渥美半島でのヒルガオガイ確認場所
●確認地点 ▼未確認地点

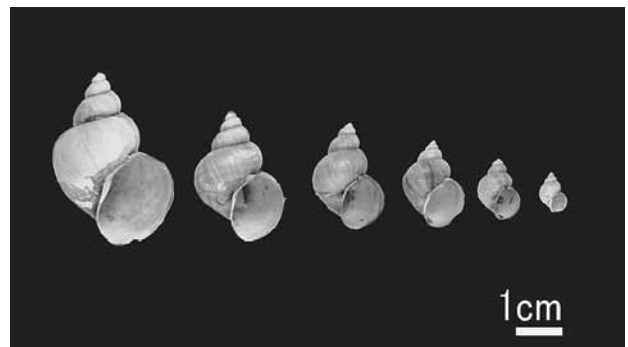


図2 豊橋市伊古部に漂着していたヒルガオガイ *Recluzia lutea* (Benett)。殻皮の失われた部分が確認できる。

きたヒルガオガイは26個，それに18日に確認された3個を含めて29個体だが，打ち上げ記録の少ないヒルガオガイでは著しい漂着と呼べるであろう。

謝辞：本稿をまとめるにあたり田原市の渡邊幸久氏には田原市百々におけるヒルガオガイの漂着を教えていただいた。北海道教育大学札幌校の鈴木明彦教授には，粗稿を見ていただいた。ここに記してお礼申し上げる。

引用文献

Abbott R. Tucker 1968. *Seashells of North America*, pp.280. Golden press, New York.

Abbott R. Tucker and Dance S. Peter 1981. *Compendium of Seashells*, pp.411. Crawford House Press, Bathurst.

林 重雄ブログ. *Beachcomber's Logbook* (<http://beachcomb.exblog.jp/>)

気象庁ホームページ. (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

奥谷喬司 2000. *日本近海産貝類図鑑*, pp318-319. 東海大学出版会, 東京.

佐々木猛智 2010. *貝類学*, pp381. 東京大学出版会, 東京.

田原市 2008. *たはらの海辺の博物誌*. 95pp. 田原市, 愛知.

(Received Sept. 3, 2014; accepted Oct. 1, 2014)

¹ 〒486-0844 愛知県春日井市烏居松町3-155

¹ 3-155 Toriimatsu-cho, Kasugai, Aich 〒486-0844